

他の機器(別売品)と組み合わせて使う

ETC車載器と接続して使う

ETC車載器からの情報に連動して、本機から料金案内などを行います。

また、料金所で支払った料金のリストを見ることができます。

ETC車載器を本機に接続するには、別売のETC車載器接続コードが必要です。詳しくは、取付説明書をご覧ください。

料金履歴のリストを表示するには

「システム情報画面」(※6ページ)から ETC料金表示 を選ぶ とタッチすると、表示中の画面をSDメモリーカードに保存できます。



料金履歴のリストが表示されます。(100件まで)
100件を超えると古い順にデータが消去されます。
件数が多いと、表示されるまでに時間がかかります。

拡大図が表示されないETC料金所について
新しく設置されたETC料金所などでは、拡大図が表示されない場合があります。そのときは、音声案内のみ行います。

ETC車載器を本機に接続すると、ETC車載器側の機能が一部制限されます。

ETC車載器のボタンは操作できません。ただし、ETCカード取出しボタンは操作できます。ETC車載器からの音声案内は行いません。ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。ただし、以下のようなときは、ETC車載器から音声案内されます。

- ETCカードを入れたままエンジンをかけた(ACCをONにした)とき
「ETCが利用可能です。」または「ETCカードを確認しました。」と音声案内されます。
- ETCカードを入れたままエンジンを切ったとき
「カードが残っています。」と音声案内されます。

お知らせ

ETCゲートを通過してすぐに右左折するルートを通る場合などは、料金の音声案内を中断し、ルート音声案内を行う場合があります。ETC車載器を設置している場合は、ETC拡大図を「表示する」に設定してください。(※122ページ)

万一、利用できない場合は、「ETCゲートはご利用できません。」と音声案内されます。一般車線をご利用ください。

AVソース(音楽CDなど)を表示している場合は、ETC車載器から音声案内されます。ただし、ルート案内・拡大図割込みが「する」に設定されている場合は、自動的にETC拡大図を表示し、ナビゲーションから音声案内されます。

画面表示を「切」(モニターOFF)にしている場合は、ETC車載器から音声案内されます。

赤外線通信ユニットと接続して使う

赤外線通信機能付き携帯電話を使って、データの送受信ができます。

準備

別売の赤外線通信機能付き携帯電話にiアプリ対応コンテンツをダウンロードしてください。

携帯電話で取得した情報をナビゲーションに送信する

施設情報：iモードで取得した施設情報を本機に送信できます。本機が受信した施設情報は、グループ30の登録ポイントとして登録されます。

ルート情報：iモードで探索したルート情報を本機に送信できます。

周辺検索結果：iモードで周辺検索し、検索結果を本機に送信できます。

電話帳：携帯電話の電話帳に登録されている名称・電話番号を本機に送信できます。
電話帳は1件ずつ送信してください。

ナビゲーションの情報を携帯電話で取得する

地点情報：現在地/目的地/地図の中心の地点情報を携帯電話で取得できます。

ルート情報：本機のルート情報(出発地・経由地・目的地)の情報を携帯電話で取得できます。

電話帳：本機の登録ポイントや検索した施設の電話番号を携帯電話に送信できます。

お知らせ

操作は携帯電話で行います。詳しい操作方法は、携帯電話の取扱説明書とiアプリのヘルプ画面をご覧ください。ただし、本機の電話番号情報を携帯電話に送信する際は、下記の操作をしてください。



準備 携帯電話を赤外線受信モードにしてください。

施設を検索し、**赤外線通信** を選ぶ

施設の電話番号情報(名称/電話番号/緯度経度)が携帯電話に送信され、電話帳データとして保存されます。(緯度経度は、電話帳のノート欄に保存されます。)

個人名検索で個人宅を検索した場合や、検索した施設に電話番号の情報がない場合は、施設の電話番号情報を携帯電話に送信できません。

iアプリ対応コンテンツについて (2004年5月現在)

i Map Fan地図 インクリメントP(株)
ゼンリン携帯マップ (株)ゼンリン

お知らせ

操作や利用できるサービスは、コンテンツによって異なります。コンテンツによっては、赤外線通信機能の一部が利用できない場合があります。サービスやコンテンツには、有料のものがあります。

対応携帯電話機種について (2004年5月現在)

NTTドコモ製
P505i、P505iS、P900i、P2102、N504i、
D504i、F504i、So504i、P504i

お知らせ

利用できるサービスは、お使いの携帯電話によって異なります。(携帯電話の取扱説明書も、併せてご覧ください。)



赤外線通信機能は、ITナビゲーションシステム研究会のDIM2フォーマットに準拠しています。
(DIM2: Data Interface Specification for Mobile Multimedia)